

スクリーンセーバーを
出さないようにする
設定マニュアル

作成：寺 岡 善 隆

編集：花 井 綾 子

作成日：2007 年 2 月

スクリーンセーバーの設定

1. コントロールパネルを開き、下矢印キーで「画面」まで行き[Enter]。
2. [Shift + Tab]で「テーマのタブ」まで行き、右矢印キーで「スクリーンセーバーのタブ」まで行く。
3. [Tab キー]を一度押し「スクリーンセーバーのコンボボックス」まで行き、上下矢印キーを「なし」に合わせる。
4. [Tab キー]で「適用」まで行き[Enter]、さらに[Tab キー]で「OK」まで行き[Enter]。



これで、設定は終わり、コントロールパネルのメイン画面に戻りますので、後は、その画面を閉じてください。

コメント

スクリーンセーバーとは、ディスプレイの焼き付きを防止するために、一定時間アクセスがなかったら、画面をブラックアウト（真っ黒に）するプログラムのことです。

現在主流のXPパソコンでは、画面がブラックアウトすることはほとんどありませんので、スクリーンセーバーを解除しても問題はないと思います。